

前期前半終了 明日から夏休み

先日の学習参観・学級懇談会に、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

毎日、暑い日が続いています。中庭に出るコーンの色（赤コーンが出れば、外での活動が禁止になります）に一喜一憂しながら、外で遊べるときは元気に遊び、そうでないときは、教室でできることを楽しむ子供たちの姿が見られました。夏休み前には、発熱等体調が優れない児童も複数名いました。これからの長い夏休み、元気に楽しく過ごしてほしいと思います。

さて、4月に新しい学年がスタートし、約4ヶ月を過ごしました。お子さまの成長を感じていただく場面はありましたか。学校では、「あ、何かひらめきましたね」「目が輝いています」「興味を持ちましたね」「夢中になって取り組んでいます」「熱心に考えています」「楽しそうに動いていますね」「目標に向かってがんばっています」と、素敵な場面をたくさん見ることができました。反対に、「何か困っていそうですね」「怒っていますか？」「悲しいことがありましたか？」「腹が立っているのですね」「本当のことですか」と、悩んだり困ったりする場面も見られました。すぐに「成長した」とは言えませんが、様々な経験が、子供たちの成長につながっていると感じます。

7月16日に、教職員の生徒指導研修を実施しました。「いじめの予防、早期発見と支援」というテーマで、講義を受けました。その中で、子供たちの「活動の成長領域」の話を聴きました。子供たちが、安全で安心して過ごせる環境の中で、小さなリスクを体験することが、後に困難なことにであっても自分で立ち上げられるレジリエンスを育むことができるという内容でした。マイナスと感じる体験も、子供たちの成長には必要です。ただ、安全で安心な環境であることが大事だと、話を聴いて思いました。「安全で安心な環境」は、子供たちが「ありのままの自分」でいられる環境です。子供たちの話をしっかりと聞き、対応が必要なときには一方的に大人の価値観を伝えるのではなく、一緒に考えていくことが学びの促進になるという話に納得しました。「子供たちが自立して、幸せに生活していけるように」と考えながら子供たちとかかわっていきたくと改めて思いました。



前期前半の学校教育活動について、温かいご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。日々の学校での様子を、ホームページに「ふしょうっこ日記」として綴りました。ご覧いただいた方から「毎日、見ています」「家での話題にしています」と嬉しいお声をいただき、喜んでいます。ありがとうございます。

では、8月27日に元気な子供たちと会えることを楽しみにしています。夏休みも楽しく過ごしましょう。

